

# 黒田 暁 研究室（環境社会学・地域社会学）

教員名：黒田 暁

## ● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

「環境保全」という言葉や考え方は、私たちが暮らしている今の社会ではある意味、「あたりまえ」のことや感覚になってきています。ところがその一方で、**今何が“よい環境”なのか？**ということや、**これからの環境と社会の関係はどうあるべきなのか？**という課題の答えについては、必ずしも明確にはなってきていません。社会学の一分野である環境社会学・地域社会学を中心に学ぶ私の研究室では、環境に対して、従来の自然科学的なアプローチにとどまらず、**社会のしくみはどうあるべきか**というポイントから考えようとしています。



黒田は東日本大震災による津波被害を受けた東北地方での震災復興支援活動に参加。地域の自然や産業、コミュニティの再生のお手伝いに取り組んでいます。

おもな研究手法は、フィールドワーク（現地調査）。

環境と社会のあるべき関係について、自然環境と人々がかかわりあう現場に自ら足を運び、考え、行動し、さまざまに経験を重ねながら自分なりの答えを見つけ出すことを重視します。**今、そうした「自分で調べる技術」（リサーチ・スキル）が社会で必要とされ、現場に寄り添う力をもった人材が求められています。**



身近な自然である森や川や海。そこで営まれる農業・漁業・林業など地域の人々の自然を相手とした生業（なりわい）から、都市で繰り広げられるまちづくりや有志の活動、景観保全まで。**広い意味での“環境”と人々のかかわりを対象にした調査研究をしたい、という方を歓迎します。**

## ● 先輩はどんなところに就職しているの？

**卒業研究の問題関心やフィールドワークのリサーチ経験を活かして、NHK やKTN（アナウンサー）、時事通信社（報道記者）等メディア業界に挑戦する傾向があります。**また長崎県・長崎市（公務員）、JA、養蜂場、旅行業など、多彩な進路先があります。**フィールドワークで得た地の利を活かして希望の進路へとつなげていく**のが当研究室の大きな特色であり、強みでもあると考えています。